

北九州・福岡間鉄道貨物輸送力増強事業について

平成18年9月13日

平成19年度の国土交通省鉄道局関係の予算概算要求において、幹線鉄道等活性化事業費補助の新規事業として、「北九州・福岡間鉄道貨物輸送力増強事業」が盛り込まれました。

事業概要等は以下のとおりです。

1. 事業概要

東アジアとの国際物流の増加に対応していくとともに、環境負荷の少ない大量輸送機関である鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進するため、JR鹿児島線の北九州貨物ターミナル駅～福岡貨物ターミナル駅間で、待避線延伸等の工事を行い、貨物列車長編成化（26両編成で1300トンけん引）のための整備を行うものです。

当社としましては、対九州方面の輸送力増強を行うことによりお客様の需要にお応えしていきたいと考えております。

2. 整備内容

- (1)整備区間 鹿児島線 北九州貨物ターミナル駅～福岡貨物ターミナル駅間
(67.6km)
- (2)整備内容 待避線延伸等の工事
- (3)事業効果 鉄道コンテナ輸送力の増強 約17万トン/年
- (4)モーダルシフトによる環境負荷の改善
CO₂の排出削減量 約3.2万トン/年
NO_xの排出削減量 約27トン/年
- (5)事業費 1億1,700万円
(うち国からの補助金額: 3,500万円)
- (6)完成予定 平成22年度
- (7)事業主体 北九州貨物鉄道施設保有株式会社(第3セクター)

北九州・福岡間鉄道貨物輸送力増強事業実施区間

